

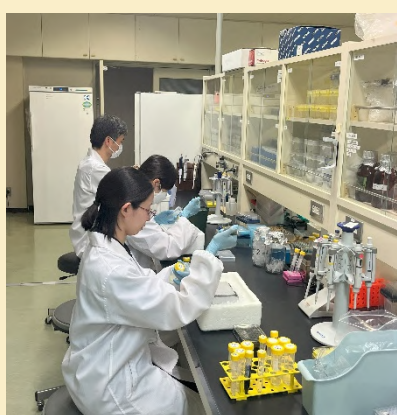
栃木県農業総合研究 センターニュース

No. 5
2025.5



—県立農事試験場から創設 130 周年—

これからも栃木の農業を支えていきます



栃木県農業総合研究センターは、1895（明治 28）年に栃木県立農事試験場として発足しました。これまでに、多くの新品種・新技術を開発し、本県農業の発展に大きく貢献してきました。これからも本県農業の持続的発展を技術と品種で支えていきます。

今年度は 130 周年の節目を記念し、これまでの歩みを振り返るとともに、今後の試験研究の発展につながるイベント等の企画を展開する予定です。

Contents

- [あいさつ] 農業総合研究センター130周年に寄せて (P2)
- [研究成果] ぶどう「BKシードレス」の摘粒を省力化する植物成長調整剤の処理方法 (P3)
水田から発生する温室効果ガス・メタン抑制技術 (P4)
- [成果速報] にら一年一作栽培技術の確立 (P5)
ニラフシダニに効果のある薬剤について検討しました (P6)
いちご育成系統の先端まだら果発生調査 (P7)
- [試験紹介] 水稻の出穂期の予測精度向上 (P8)
農業分野でのカーボンニュートラル実現を目指して (P8)
- [研究Now] あじさいの手まり咲きを決定するTEMARY遺伝子について (P9)
- [トピックス] 県南部でイネカメムシの越冬を確認しました(P10)
今年も当センター開発のあじさい7品種の出荷が始まりました (P11)
令和6年の肥料生産量及び出荷量を取りまとめました (P11)
- [お知らせ] 農業総合研究センター公開デーを開催します (P11)
病害虫発生予察情報を発表しました (P11)